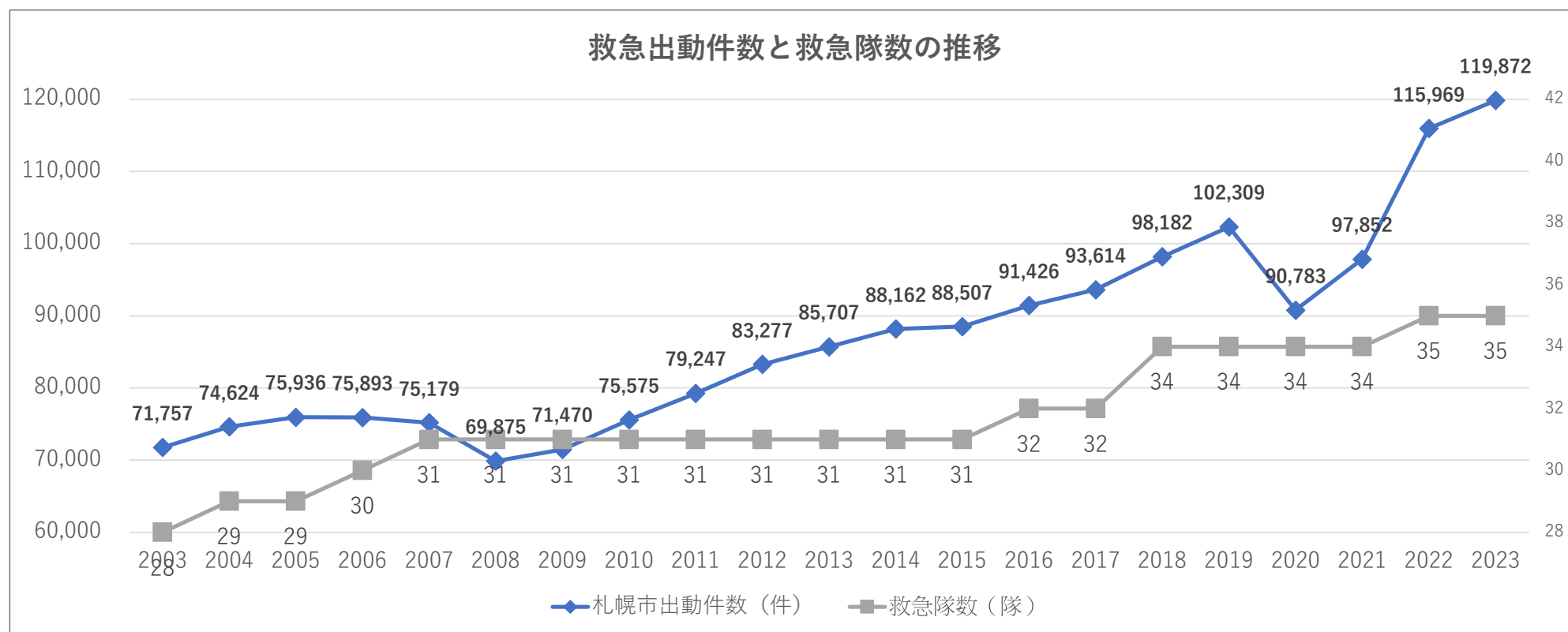


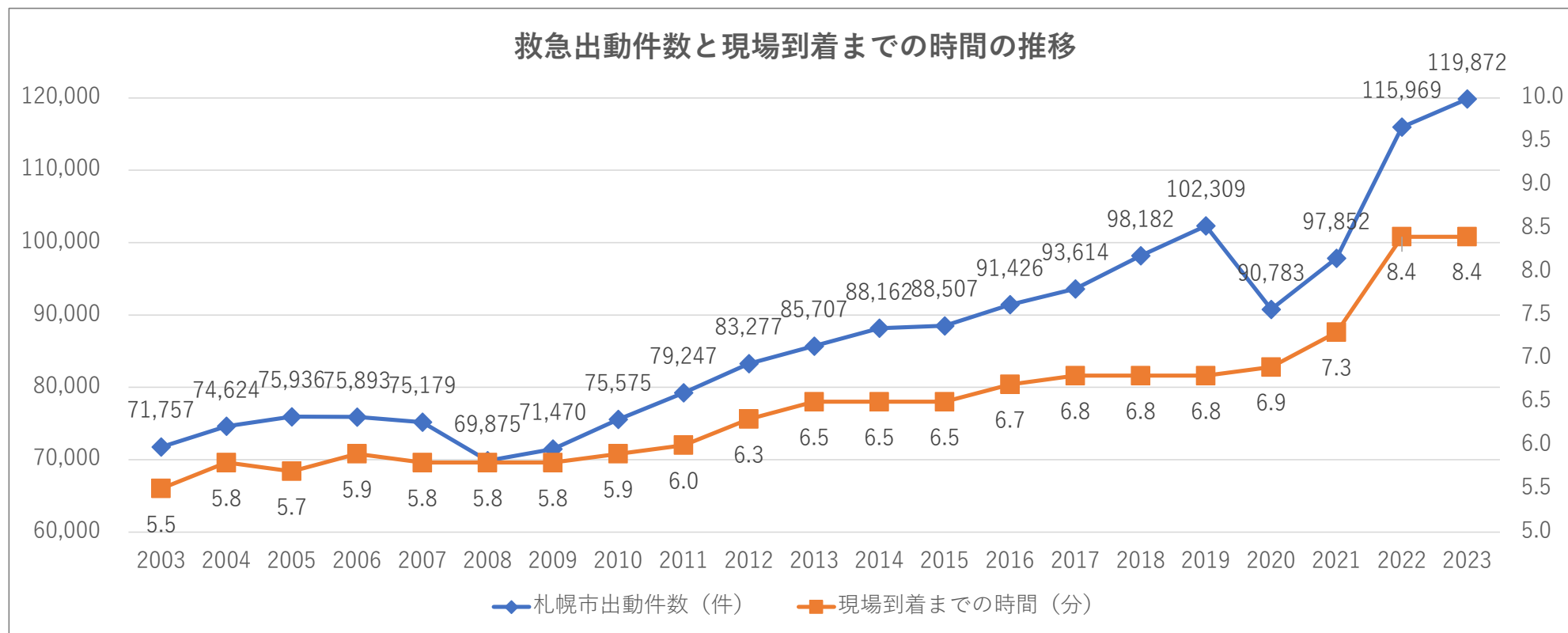
# 救急搬送の現状①

- 救急出動件数は、20年間で1.5倍以上に増加しました。
- 救急隊も1.25倍の増加していますが、追いついていない状況にあります。



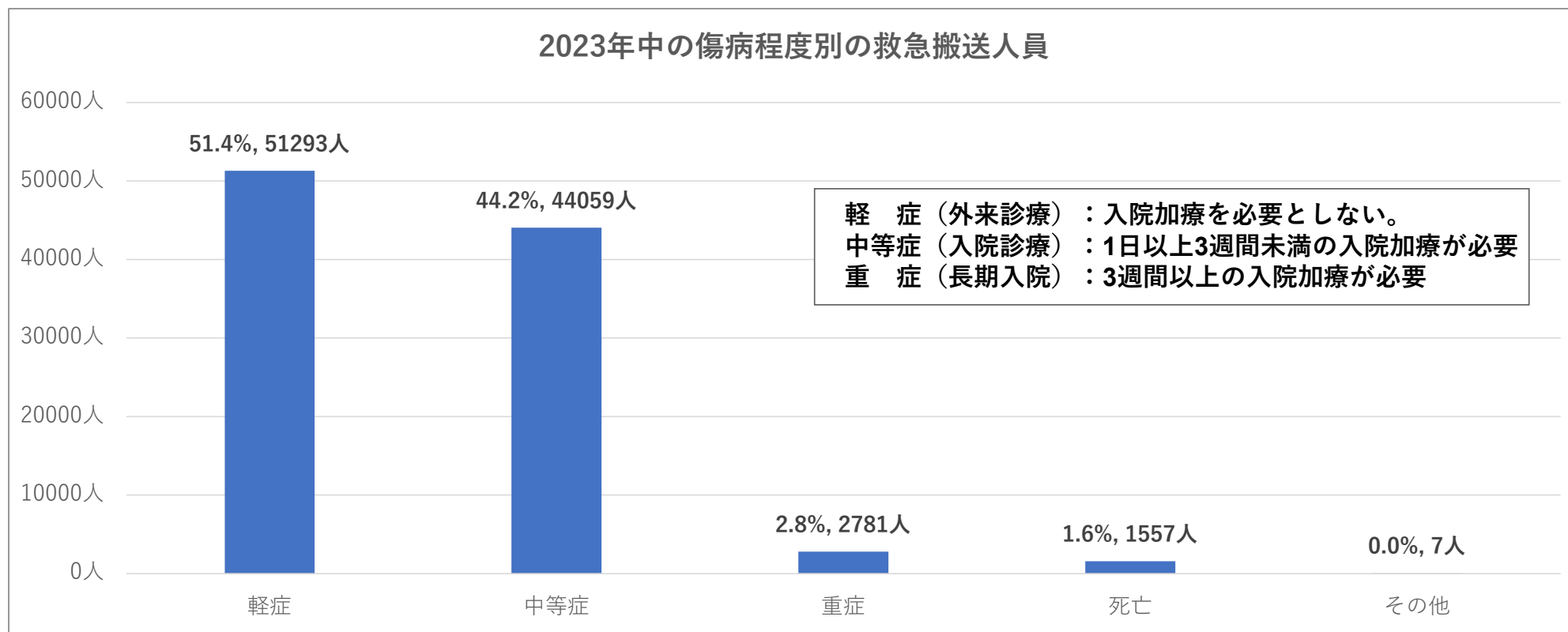
## 救急搬送の現状②

- 救急車が足りない状況になると、より遠くの救急車に指令がかかります。
- このため、救急車の現場到着までの時間も伸び続けています。



## 救急搬送の現状③

- 例年、救急搬送された方の約半数以上の方が入院を必要としない軽症です。
- この傾向は20年間変わっていません。



# 解決するためには

- すでに救急要請しても出動可能な救急車が一台もない事態が発生しています。
- このまま救急出動の増加が続くと、重篤な患者のもとに救急車が到着するまでの時間がますますかかってしまう可能性があります。
- この問題を解決するためには、市民一人ひとりが救急車の正しい利用について考える必要があります。



# 救急車の不適正な利用の例

- 次のような理由による救急要請は、不適正な利用にあたります。



## 判断に迷うときは#7119に

- 消防庁の一般住民アンケートによると、約半数の方が救急要請をすべきか、病院を受診すべきか迷った経験があります。
- 本当に必要な時はためらうことなく119番に、もしも判断に迷うときは#7119に電話しましょう

